2051194

様式３の別添１

研究内容説明書
単施設研究用

新医学系指針対応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

遺伝性乳がん卵巣がん症候群に対するリスク低減乳房切除術における乳房再建の検討
—通常の乳がん乳房切除後の再建との比較検討—

１．研究の対象および研究対象期間

昭和大学病院（乳腺外科・形成外科）において乳がんや遺伝性乳がん卵巣癌症候群の診察、検査、治療をお受けになられた患者さんを対象として研究を行います。
研究対象期間は 2013 年 1 月 1 日から 2020 年 11 月 30 日です。

２．研究目的・方法

2020年4月から乳がんを発症されたことがある方は遺伝性乳がん卵巣がん症候群の検査と乳がんを発症していない方の乳房の予防的切除（リスク低減乳房切除術）とその乳房再建が保険診療で治療できるようになっています。昭和大学病院は遺伝性子宮癌卵巣癌症候群に対する検査や治療に関して2013年より臨床研究が行われており、通常の乳がん手術との違いを比較する研究を行い、今後の診療水準、再建乳房の成績の向上を目的としています。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院 病院長の研究実施許可を得てから 2021 年 8 月 31 日まで

３．研究に用いる試料・情報の種類

診療録（カルテ記載内容、検査結果、手術記録内容、写真や３D イメージデータなど画像(乳房のみの画像)、患者アンケート Breast-Q 結果など）の情報を匿名化した後に後方視に調査して比較検討いたします。

４．お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：　形成外科　　氏名：佐藤伸弘

住所：　東京都品川区旗の台１－５－８　電話番号：03-3784-8548

研究責任者：佐藤伸弘

2017/04 版
(4/28/17 作成)